

第20号

発行 丸橋歯科「良い歯の会」
発行所 高崎市連雀町91
TEL 027-323-9524
FAX 027-322-3176

医・農・智

不自然な生き方をやめないと心が苦しんでいるとき
あなたは病という手だてを使い
それは正しいほど正確な
いのちのシステム
病とは……
自然のままのあなたの姿から
遠く生きていくことへの警告
病とは……
あなたのいのちを守ることに
限りなくあなたかな
いのちのシステム

「良い歯の会」機関紙

いのち

私の中の文学の目

丸橋 賢



予言する、良い歯の会

「良い歯の会」が二十一年も続
き、今も多くの出席者が絶えない
理由とは何か、それは、良い歯の
会」を貫く視点に、人びとが常に
新鮮な驚きをもって、本質的なも
の」つまり、真実を発見すること
ができるからである。良い歯の
会」は決して単なる健康教室、つ
まり知識を学ぶ会などではない。
各人が自分とは何か、人間的な生
き方とは何かを再発見する場、つ
まり哲学教室と呼んだ方が正確な
のだと思っている。

本質を見透す目から、良い歯の
会」で私が警告したこと、提唱した
ことは、いつともなく経つと現実の
問題となる。若年者の心身の崩壊
を警告した。十七歳閣僚説 もい
ま若年者の凶悪犯の急増として現
実のものとなっている。政治的分
野でも、例えば私が当時の宮沢蔵
相が、自分で作ったパドルを、あ
たかも風船を突き刺し、踏んづけ
るようなやり方でつぶすのを見
て、一國の運輸手は、軟着陸を狙
うべきだ。こんな無責任なやり方
をしたら、地価や株価が暴落し、
不良債権が増え日本経済は破綻す
る、と予言した。十年前のことだ
である。政治家も私の意見を笑って
いたが、周知の通りの深刻なバラ
ンシート不況、デフレスパイラル
に陥つたのである。そんな時、
また宮沢氏が蔵相になると聞き、
私はこの国の政治と国民をほぼ見
限った。第一級の経済戦犯の彼を
国会前に吊し、みんなでやりて突
くくらいの気概がなければ、この
国は何の反省もなく破綻の道へ落
ちていく。私はそう批判した

が、また政治家に受け流された。
結果は見ての通りである。いま
日本経済の現状も、正しい運輸も
知らない小泉首相の舵切りによ
り、小泉不況という歴史的な不況が
実現するであろう。私は予測し
ている。大恐慌に陥る可能性も強
いと考えている。本質を見る目に
はいつも真実が見えるのである。

21世紀は暗い時代

二千年を迎える頃、私は二十一
世紀は暗い時代になると感じてい
た。何故かと聞かれ、人口増加と
環境の急激な悪化、食糧不足、戦
争の多発拡大による、と私は答え
てきた。特に中東の対立は深刻な
戦争に拡大する可能性が高いと考
えていた。イスラエルやアメリカ
の好戦的政権の誕生から、早くも
私の予測は現実のものとなりつつ
ある。

これらの問題を人類が克服する
のは大変難しい。二十世紀は民主
化の進展した世紀であったと言
えるが、私が強い危機感をもつ
のは、この民主主義の質に閉じて
ある。安易通俗な大衆民主主義と
大衆ヒューマニズムが蔓延し、本
当の民主主義を支えるに足る主体
性確立を問う方向が忘れられた。

一冬に30万頭も家畜が死ぬ



ウランバートル
は夏なのに褐色。砂
漠化が進んでいる
家畜が根こそぎ草を食べ尽くす

主体性確立の長い歴史を有するヨ
ーロッパは別として、その結果大
衆社会化が進み、ほとんど内容の
ない人権思想が尊重され、知的営
為の水準が低下もしくは消滅し
た。特に、本質を見る目、見えな
いものを見る目を養う形而上学的
能力、文学的営為などが忘れられ
たのが決定的であった。

現代の大衆は本質を見る目をほ
んど失っていると言っている。
予測力や自己制御力をもたない大
衆の人権が尊重される形で、現在
人口爆発、環境破壊が進展してい
るのである。

写真は、今年八月、健康調査で
訪れたモンゴルである。アフリカ
中東、中央アジアなどで広く同様
の干魃、砂漠化が進んでいる。モ
ンゴルでも激しい干魃が進み、冬
には三百万頭も家畜が死ぬが、
私の目に、これは人災であると映
る。いま、モンゴルに緑の草原の
イメージはない。

だ。緑地がなければ保水は悪く
大気の流れも起らず、雨は降ら
ない。干魃になるのは当然である。
おまけに井戸を掘り、家畜に与え
る観光開発も進んでいる。ウランバ
ートルは今も砂漠に近づいている
が、都市の人口の消費を支える
自然の生産力が大きく不足してい
ると見る。消費、人口、家畜数の
制限を行わなければ、自然の法則
の前で、歴史の中で幾つもの都市
が砂漠に消えていったように、ウ
ランバートルも消滅してゆく運命
にある。

を掲げていた。各ポイントで説明
者がアジる。見学者は声を上げて
泣き、互いに抱きあつて励まし合
っているのである。アウシユビツ
を訪れ、彼らは平和を学ぶので
はなく、ナショナリズムを高揚さ
せ、建国の意志を固めているよう
に見えた。パレスチナやアラブに
対し、占領や攻撃の手を、彼らが
決して緩めたりしないだろうとい
うことを私は理解した。

人間が本質を見つめ、反省し、
生き方を自制力を持って決定して
ゆくという学習能力をもち持たな
いとすれば、人間がどのような道
を辿るか、明らかに推測できる。
正義を自認し、戦争を繰り返すア
メリカに代表される如く、国や国
単位の人間が、自省して戦争を越
える思想を持つことは当面困難と
見られる。アフガニスタンに見ら
れるように、地球は広範囲に疲弊
色を強めている。貧困は一層の争
いを生む要因となる。

ユダヤとパレスチナのような民
族対立も解決困難な課題だが、ユ
ダヤとイスラムの対立に見られる
ような宗教対立の問題も二十一世
紀が人類に問うた重い課題であ
る。それぞれ平和を願う宗教が、
さらに戦争を生むとしたら、人間
が存在する限り、宗教をもってし
てもこの課題を克服することは不
可能だと考えざるを得ないかも知
れない。

荒廢したアフガニスタンの大地
で戦争を続ける人間の姿は、愚か
な人間の本性を示すものかも知れ
ない。正義の名のもとに戦争を繰
り返す世界の流れも同様である。
確かに世界の状況は大衆化が進
み、人間にのみかかつて存在した真
実を見透そうとする努力、思想は
衰退している。しかしもうよいだ
ろ。ここまで融け崩れた人間性
と社会の先に、大きな困難が見え
てきたのだから、大衆オピニオン
を排し、澄んだ目で、本当のこと
を見つめ、提言してゆくことはな
いか。希望があるとしたら、十年
先にまた、私の提言が認められる
かも知れない。人間性の復活を死
守し、活動してゆきたいと思う。

丸橋賢著 農文協刊

Advertisement for dental books and services. Includes titles like '歯槽膿漏' (1,260円), '新しい歯周病の治し方' (1,470円), '顎偏位症の治療と予防' (1,300円), and '良い歯の治療の見分け方' (1,530円). Also mentions 'インプラントで安心' (1,600円) and an internet site 'http://www.maruhashi.com/'.



# 「いのち」再発見の場 良い歯の会は 単なる健康教室 にあらず!!

特別企画の食べ比べ  
試食会



## 参加者アンケート 一挙に紹介

人間らしく生きる事が大切だという事を改めて感じました。そのためには受け身では流されてしまいためでしょ。積極的に自分で考えてゆかねばと思えます。計十三回の参加で学んだ事を生かしてゆこうと思えます。

(埼玉県・43歳・男性・教員) 知識だけではため、実践することで、命に向かう姿勢の重要性、自分の命を見つめる視点を磨きをかけて学ぶことができた。この会は、治療に勝る効果があると思えます。「良い歯の会」から多くの動機づけをいただきました。

(札幌市・53歳・男性・会社員) 「人間らしく生きる」と「内なる思いを自分の真の目的にする」と「に関する話が印象に残っています。自分の生活をふりかえり、時相変わらずの目的に振り回されていく姿勢が次第にできてきたように思う。自分が大学時代にやりたかったことを今や始め、半年以上続いています。その上それが「内なる思い」を現実のものとする事ができるような予感がはじまりました。これからも「良い歯の会」で勉強を続けようと思えます。先生ありがとうございました。

(埼玉県・49歳・男性・会社員) 五年前に参加したことがありま

### 良い歯の会ご案内

日時 毎月第2土曜日  
午後1時30分～5時

会場 丸橋歯科クリニック  
(連雀町診療所) 3階研修室

内容 4回連続参加で1シリーズ  
環境と人間の生き方を考える  
(1月、5月、9月)  
ムシ予防を中心に家族を考える  
(2月、6月、10月)  
歯周病と生活習慣病を克服しよう  
(3月、7月、11月)  
退化病と闘う  
(4月、8月、12月)

定員 40人(入場無料)ご家族、お友達などお誘い合わせのうえ、ご参加ください。

その他、本物食品と二セ物食品(市販食品)の食べ比べの試食会も行っています。

お電話でご予約ください。 ☎027-323-9524



(埼玉県・15歳・女性・学生) 久しぶりに友人を誘っての参加の素晴らしさを認識でき、食生活改善に努力します。

(埼玉県・31歳・女性・主婦) 「良い歯の会」に参加するようになってから我が家の食生活が変わりました。子供たちはムシ歯ゼロで育っています。私のコレステロール値も正常値に戻りました。

(東京都・40歳・男性・会社員)

す。食事の大切さをわかったつもりでしたが、なかなかうまくいかなかったのは真の目的に向かっていなかったためだと気づかされた。現実にはなかなかいっていきたくない。子供たちと四回続けて参加したい。

(群馬県・40歳・女性・自営) 今までの生活を根本から見直す必要があると痛感しました。自然食品の選択、インスタント食品、甘いものを控え、合成洗剤もやめ、本物を見極め健康に対する認識を変えて、食生活の改善に真剣に取り組んでいこうと思えました。

(埼玉県・50歳・女性・主婦) 小さい時からお母さんに「歯磨きしなさい」と言われ、うるさいと思っていたが、やっぱり歯磨きをちゃんとすることは大切だと思いました。親の心がけ一つで、子どもがまったく変わるんだと思いました。私はアトピーがあるのでお菓子をひかえます。

(埼玉県・50歳・女性・公務員) 前向き思考を心がけていた私ですが、憤りを感じる職場環境の中で、少し後ろ向きになっていたので、心の健康を取り戻せたような気がします。

(埼玉県・50歳・女性・公務員) すばらしい会に参加させていただきありがとうございます。何か今日から変われそう、新たな出発点になりそうです。学生時代栄養学を勉強しましたが、現在の食生活に何の疑問も感じていませんでした。今日の参加で本物食品の素晴らしさを認識でき、食生活改善に努力します。

## モンゴル調査旅行

竹林 英彦

ウランバートル、バヤント・オハイ空港から一時間程のフライトでゴビ空港に到着した。旧ソ連製アントノフ24型からタラップを降りると日本ではお目にかかれぬ光景が広がった。見渡す限りの平原の彼方にアルタイ山脈の切れ端を望む。人口密度一平方kmあたり1.2人の世界だ。ここに空港をつくるのは簡単だ。地表の小砂利を掃いてしまえばそこが滑走路となる。舗装などある筈もなく離着陸の際のすべり土煙を上げていた。そしてどこからか良い香りが漂ってくる。野生のハープの匂いだ。ここゴビは恐竜化石の世界的宝庫だが、巨大な恐竜が走り出したとしてもスケールの何らおかしくない。それ程広大な土地なのだ。今回の旅で最も印象的だったのはモンゴルの子供達だ。素直で生き生きとしてたくましく、そしてしたたかだ。ゴビで出会った遊牧民の少年は、恐らく社会主義時代に作られたと思われる砂漠の中の井戸を案内してくれた。重油まみれのモーターを駆使して水を汲み上げる。そして自分がこの管理者と自慢した。調査に訪れたゲルの一家の青年。はにかんだ笑顔の白い歯が印象的だった。咬合力は113kgにも達し、我々を驚かせた。ウランバートルの街の一角で学ぶ数人の子供達。将来は医師

## 海外取材報告

丸橋 裕子

### 北朝鮮の町と人と板門店

北朝鮮行きを話すと、「拉致されないよう気を付けて」と心配されましたが、前回の韓国旅行で遥かに北朝鮮を望んだ時から一度は行ってみたいと思っていました。深刻な食料不足で多くの餓死者が

出ていると報じられており、それが真実ならば、なぜ人々から指導者や体制への非難の声が上がらないのだろうか、声を出すことができない程弾圧が強いのだろうか、具体的な姿が見えないままに色々考えていました。

名古屋から高麗航空のチャーター便で二時間半程、何とも簡単に平壤空港に着きました。平壤は美しい落ち着いた町でした。大同江という大きな河が静かに流れ、朝鮮戦争の時に橋一つ以外は全て米国の爆撃で壊されてしまったとのことで、近代的な建物が建ち並んでいます。金日成や労働者を描いた大きな絵や建物の上の赤い大きな字のスクリーンが所々にあり、外は広告の看板は一切なく、公園や庭はよく手入れされどこにもゴミは落ちていません。人々は皆スリムですが飢えているといった様子



遊牧民の少女

や教師になりたいと目標をしっかりと決めていて目が澄んでいる。小学校の体育館で見事な伝統舞踊や馬頭琴を披露してくれた生徒達。そしてウランバートルを取材したときにお金をたかりに来た貧しい少年達。11月のモンゴル高原は平均気温0度の雪景色だ。今、あの子供達はどのようにしているのかと想像する。きつと元気に走り回り、馬の世話をし、時々やって来るツーリストに愛想をふりまわっているに違いない。

私はモンゴルがさらに近代化され消費文明が身近なものになったとしても伝統的遊牧生活は何も変わらないだろうと思つた。なぜなら彼らはこの生活を楽しまれている。一つゲルの下で家族や仲間が一人一人役割をもつ共同生活。美しく厳しい自然との直接対話の生活。草原に馬を駆る何の制約もない暮らし。一方日本人はどうだろうか。本意な労働を強いられ時間に追われるストレスの多い生活。生じた多少の富と時間が逆に制約を生んだりする。「日本人こそ今、モンゴルに学ばねばならない」とツアーの団長のあいさつの言葉が忘れられない。

様子はなく、日焼けして健康そう、しかもおだやかな表情で、何か私たちに与えられていたイメージとは大きく違っていました。

見学コースが決まっています。人々の生活の場へ自由にはいり込むことまではできませんでしたが、それでも接する人々は皆親切にこやかでした。金日成のチュウチェ思想(儒教を土台にしたもの)が人々の心を支えているように思われました。空港以外写真撮影自由です。子供たちの課外活動のため、学生少年宮殿の見学で何よりも印象深かったのは、小さな子供たちが外国からの来客に緊張して立派に接しようとしている素朴で素直な可愛らしい姿でした。日本ではこのような規律やまじめさといった大事な教育を置き去りにしたのではないかと考えさせられました。

この旅の最大の目的は板門店を訪れることでした。北からの板門店は韓国側の物々しい警戒とは対照的にオープンで、兵士の数も少なくゲートの中でも人々のどかに農作業をしていました。停戦ラインをまたぐ建物の内部は北も南も行き来自由で、外側にはコンクリートの低い境界線があるばかりです。それを挟んで両方の兵士が立っている様子は何ともほげかけていて、人間の愚かしさを見ることができました。

の会には参加できませんが、先生から教えていただいたことを守り、未精白米を食べています。今日も自然食品店で買ってきまして、とお話する顔は、「高齢ではありますがお元気そうでした。」「良い歯の会」の意義が感じられた出来事でした。

(渡辺浅乃)

## 編集後記

Tさんに久しぶりに街でお会いしました。Tさんは、十二年くらい前から「良い歯の会」に二十回近く熱心に参加されている方です。

二〇二〇しながら「最近長時間座ってられないので、良い歯